

記入例

(別紙様式第1号)

茨城県知事 殿

・農地等区分は農地が所在する市町村に確認し、該当する数字を記入してください。

・事業費及び補助額は再生作業及び、重機を用いた樹木の抜根作業を分けて記入してください。

・住所、事業実施主体名、(代表者職氏名)を記入してください。

・提出する年月日を記入してください。

・補助額の算出方法は次ページを参照。

令和3年〇月〇日

(住所) 〒310-8555 水戸市笠原町 978-6
 (事業実施主体名) 株式会社〇〇
 (代表者職氏名) 代表取締役 茨城太郎

・事業費は、別紙様式第2-1号又は第2-2号の事業費計を記入してください。

茨城かんしょトップランナー産地拡大事業のうち荒廃農地等再生支援事業実施(変更)計画書

1 荒廃農地等再生計画

ほ場番号	所在地	農地等区分※	重機を用いた樹木の抜根の有無	農地面積(a)	再生に係る見込額(円)		再生作業予定実施期間
					事業費	うち補助額	
1	水戸市笠原町〇〇	1	有	12.6 <u>12</u>	再生 408,642円 抜根 450,640円	再生 120,000円 抜根 180,000円	令和3年7月4日～ 令和4年3月31日
2-1 2-2	水戸市笠原町□□ 水戸市笠原町△△	3 3	無 無	1.9 16.2 計18.1 <u>18</u>	再生 302,000円	再生 151,000円	
計				<u>30</u>	(再生 710,642円) (抜根 450,640円) 1,161,282円	(再生 271,000円) (抜根 180,000円) 451,000円	

・所在地は農地台帳等をもとに1筆ごとに記入してください。

・抜根の「無」「有」どちらかを記入してください。
 ・樹木の抜根が「有」場合、現況写真より樹木の存在が確認できる現況写真を添付してください。

・農地面積は単位を a で算出後、小数点以下は切り捨てで記入してください。
 ・農地を合算する場合は合算後の数字を切り捨てで記入してください。
 (例) ほ場1の農地面積: 12.6a→12a
 ほ場2の農地面積: 1.9+16.2=18.1a→18a
 全体の農地面積: 12a+18a=30a

・再生作業実施前の場合、見込の期間を、再生作業実施後の場合、実際に作業を行った期間を記入してください。
 ・令和3年4月1日以降に開始され、翌年3月31日までに完了する期間を記入してください。
 ・再生作業実施予定期間は、農地貸借期間または農作業受委託契約の契約期間内であることを確認してください。

・ほ場番号は原則1筆毎に記載。
 ・異なる複数の農地が隣接し、農地区分や再生作業が同程度(抜根の有無等)を見込む場合は、同じほ場番号に記入できます。
 ・複数の圃場を同じほ場番号に記入する場合は再生作業が同程度であることが確認できる現況写真を添付してください。

2 かんしょ生産計画

年度		かんしょ作付面積
実績	令和3年度	0 a
計画	令和4年度	30 a
	令和5年度	30 a
	令和6年度	30 a
	令和7年度	30 a
	令和8年度	30 a

(増加面積)
30 a

※変更計画書の場合、変更箇所は2段書きとし、上段に変更前の、下段に変更後の内容を記載する

※農地面積については1a未満は切り捨てとする

- ※農地等区分
- 1 荒廃農地（令和3年度の荒廃農地調査で判定見込みの農地も含む）
 - 2 遊休農地（令和3年度の荒廃農地調査で判定見込みの農地も含む）
 - 3 耕作放棄地（荒廃農地及び遊休農地に該当する農地を除く）
 - 4 陸田（令和2年度もしくは令和3年度に水稻の作付があった土地）
 - 5 放任樹園地（荒廃農地及び遊休農地に該当する農地を除く）
 - 6 その他1から5までのいずれにも該当しない土地

※令和3年作付けの場合、実績を令和2年、計画を令和3年～令和7年とする
令和4年作付けの場合、実績を令和3年、計画を令和4年～令和8年とする

・事業実施年度（ただし、事業実施年度に作付けする場合は前年度）から6年間のかんしょ作付面積を記入してください。

・増加面積は再生作業を実施する面積以上の面積を記入してください。

（補助額算出の考え方）

（1）荒廃農地等再生作業に要する（した）事業費の1/2と上限額100,000円/10aの額を比較し低い額が補助額となる。

（ほ場1、12aの場合）

（再生作業に要した事業費）408,642円 （事業費の1/2）204,321円 > （上限額100,000円/10a）120,000円
→（補助額）120,000円

（ほ場2-1、2-2、18aの場合）

（再生作業に要した事業費）302,000円 （事業費の1/2）151,000円 < （上限額100,000円/10a）180,000円
→（補助額）151,000円

（2）抜根に要した事業費の1/2と上限額150,000円/10aの額を比較し低い額が補助額となる。

（ほ場1、12aの場合）

（樹木の抜根に要した事業費）450,640円 （事業費の1/2）225,320円 > （上限額150,000円/10a）180,000円
→（補助額）180,000円

別紙様式第1号のほ場番号毎に作成すること

(別紙様式第2-1号)

再生作業で使用予定の資材(例:有機質肥料)、または委託費(例:雑木処理費)、リース代(例:けん引式マニユアスプレッダ)を事業費として含める場合は、見積書を添付してください。石油価格の場合(例:軽油)、見積書の代わりに給油所小売価格調査(経済産業省出典)より茨城県の令和3年4月1日から計画申請書申請日までの最高値を上限に算出してもかまいません。

※委託施工のみの場合は見積書での申請も可とする。

※(1) 荒廃農地等再生作業に係る見込額の算出が困難な場合は様式2-2号による申請も可とする。

事業実施主体名、(再生作業) 予定実施期間、ほ場番号、農地面積は、別紙様式第1号と一致するように記入してください。

申請日は、別紙様式第1号と一致するように記入してください。

令和3年〇月〇日

荒廃農地等再生作業事前報告書

- 1 事業実施主体名： 株式会社〇〇
- 2 予定実施期間： 令和3年7月4日～ 令和4年3月31日
- 3 ほ場番号： 1
- 4 農地面積： 12a
- 5 再生作業(障害物除去、深耕、整地等)に要する(要した)内容(該当する項目のみ記入)

(1) 荒廃農地等再生作業

項目	種類、数量、価格など	見込額(円)
資材費(機械の燃料費及び消耗品費等)	A 軽油 125円/L×200L	25,000
	有機質肥料 3,000円×3袋(要見積書)	9,000
機械経費(リース代等(自主施工の場合には機械損料※1))	B 農用トラクタホイール(40-60PS) 2,470円/時間×64時間	158,080
	ロータリーティラー(作業幅 1.9m～2.0m) 2,830円/日×8日	22,640
	自走式マニユアスプレッダ(リース) 5,000円×1日(要見積書)	5,000
工事雑費(再生作業に係る保険料等)	C	
委託料等(再生作業によって生じた廃棄物の処分料等)	D	
労務費 ※2	E 労務提供に係る人件費相当額分(日当等支払分以外) 一般運転手 19,800円/日×9日 (トラクターでの作業時間8日(64時間)+マニユアスプレッダでの作業時間1日(8時間)) 軽作業員 1,787円/時間×6時間	178,200 10,722
	日当等支払分	F
① 事業費計(A+B+C+D+E+F)		408,642

自主施工による機械損料は、土地改良事業等請負工事機械経費算定基準に掲げる単価を上限として算出してください。単価の算出時は、使用予定の機械の種類及び型番を確認してください。

自主施工による労務費は、令和3年度公共工事設計労務単価表に掲げる単価を上限として算出してください。機械を使用して作業を行う場合は、使用する機械の使用時間と労働時間を一致させてください。

(2) 重機を用いた樹木の抜根を行う再生作業

項目		種類、数量、価格など	見込額 (円)
資材費 (機械の燃料費及び消耗品費等)	G	軽油 125 円/L×150L	18,750
		混合燃料 1,000 円×1 缶	1,000
機械経費 (リース代等 (自主施工の場合には機械損料※1))		H バックホウ (小型 0.11) 8,810 円/日×10 日 チェーンソー (350 mm) 395 円/日×2 日	88,100 790
工事雑費 (再生作業に係る保険料等)		I	
委託料等 (再生作業によって生じた廃棄物の処分料等)		J 樹木処理費 60,000 円 (要見積書)	60,000
労務費 ※2	労務提供に係る人件費相当額分 (日当等支払分以外)	K 特殊運転手 24,100 円/日×10 日 普通作業員 20,500 円/日×2 日	241,000 41,000
	日当等支払分	L	
① 事業費計 (G+H+I+J+K+L)			450,640

※1 「機械損料」: 土地改良事業等請負工事機械経費算定基準 (昭和 58 年 2 月 28 日構改D第 147 号農林水産省構造改革通知) を上限単価とすること。

※2 「労務費」: 令和 3 年度公共工事設計労務単価表 (茨城県土木部) を上限単価とする。

労務費の違い

- ・ 労務提供に係る人件費相当額分
事業実施主体やその家族など日当として支払わない場合、労務単価と作業時間の積で労務費を算出する。作業時間については、実績報告時に再生作業参加者名簿 (別紙様式第 8 号) にて確認します。
- ・ 日当等支払分
作業員を雇用し日当として支払う場合、実績報告時に領収書にて労務費を確認するため、実績報告時には領収書を添付してください。

同じトラクターでも規格や機械質量等によって労務費が一般運転手・特殊運転手の 2 パターンになります。他の機械でも同様のため、不明な場合は市町村に事前相談を行ってください。

(参考) 労務単価 (令和 3 年度 公共工事設計労務単価 (茨城県土木部) より抜粋)

区分	作業員	単価	
		(円/日)	(円/時)
現場における作業			
① 草刈り機、チェーンソーを用いて行う作業	普通作業員	20,500	2,562
② 機械質量 3t 以上のブルドーザ、バックホウ等を用いて行う作業	特殊運転手	24,100	3,012
③ ②以外の機械 (農業用機械やダンプトラック等) を用いて行う作業	一般運転手	19,800	2,475
④ ①~③以外の簡易な作業	軽作業員	14,300	1,787
工程管理に係る打合せ (現場の立ち会い) 等	普通作業員	20,500	2,562

※工程管理に係る打合せについては、必要最小限の時間でおさめること。

別紙様式第1号のほ場番号毎に作成すること

申請日は、別紙様式第1号と一致するように記入してください。

(別紙様式第2-2号)

令和3年〇月〇日

事業実施主体名、(再生作業) 予定実施期間、ほ場番号、農地面積は、別紙様式第1号と一致するように記入してください。

荒廃農地等再生作業事前報告書

- 1 事業実施主体名： 株式会社〇〇
- 2 予定実施期間： 令和3年7月4日～ 令和4年3月31日
- 3 ほ場番号： 2
- 4 農地面積： 18a
- 5 再生作業に要する内容(該当する項目に記入)

①～③のいずれかを選択し、必要な作業に丸を付けてください。
植生状況を確認できる現況写真を添付してください。

確認する対象	確認部分	状況	各状況の詳細	該当する状況 (地上植生状況は いずれか1つを選択)	刈り払 い後又は 抜根後 の集積が 必要	集積後 再生農地 の外へ運搬 が必要	ポイント 合計	備考 (実績報告時には作 業時間及び作業内 容)
				各ポイント	各ポイント	各ポイント		
雑草・雑木等の 繁茂状況	地上	植生 状況	①草、笹のみが繁茂				8	
			②草が繁茂及び木竹がまばらに植生	○	○	○	14	52
			③草、木竹が繁茂 (灌木の径6cm以上)				14	
	地下	根の 状況	根の除去が必要 (地上②に該当)	○	○	○	10	63
			根の除去が必要 (地上③に該当)				10	

農地の 状況	地上	均平 状況	均平作業が必要				39	
		湿害 状況	暗渠等排水対策(サブソイラ、暗渠、明渠)が必要				15	
		礫の 状況	除レキが必要				9	
	地下	硬盤層 の状況	深耕(プラウ)が必要				10	
		団粒 状況	トラクター等で荒耕起が必要(1回のみ)				6	
			〃 (2回)				13	
			〃 (3回以上)		○		19	19
土壌の 状況	土壌改良が必要				50			

自主施工のために必要な作業員の種類、人数を備考欄に記入してください。

その他	労務	自主施工のための作業員が必要 (普通作業員20ポイント以内/日/人、軽作業員14ポイント以内/日/人)	○	要 計 算	34	普通作業員1名 軽作業員1名
-----	----	--	---	-------------	----	-------------------

合計							168
----	--	--	--	--	--	--	-----

再生に係る見込額 (合計ポイント×面積(a)÷10) = 302 千円

合計ポイント $168 \times 18a \div 10$
 $= 302.4 \rightarrow$ (小数点以下切り捨て) 302